

# 多摩教文研だより

しまだ

かずあき



## 所長 嶋田 和明

多摩教育文化研究所

〒214-0037 川崎市多摩区西生田2-1-3(つゆき事務所内)

ホームページ: <http://kawakyoso.net/newpage40.html>

email: shimada9990@yahoo.co.jp



Homepage



Facebook

### <はじめに>

川崎市には、様々な歴史や文化があり、また「市子どもの権利に関する条例(子ども権利条例)」等の先駆的なとりくみも多い都市です。私は、その中で生まれ育ち、働いてきたことに愛着と誇りを感じています。とくに多摩区は、生田緑地をはじめ自然豊かな地域です。蛸や里山の山道は、思い出深い光景の一つです。一方、桁形山の山城や登戸研究所など、歴史的に貴重な文化的遺産も数多く残っています。そして現代では、自治会や様々なNPO等による里山保全やイベント・学習会が開かれています。まさに、多くの市民と学生が暮らし、学び合う文化の都市に成長しています。多摩教育文化研究所では、教育や文化に関わる様々な活動を調査しまとめ、多摩区の魅力を発信していきたいと考えています。ぜひ、ご質問や情報等がありましたら、email等にてお気軽にお寄せください。

### <多摩区の歴史>

川崎市は1924(大正13)年に誕生した自治体で、その後「多摩川」沿いの町村を順次編入し拡大、現在の多摩区の区域になりました。

生田村は、1875(明治8)年に上菅生村と五反田村が合併、漢字を1文字ずつ採って「生田」となりました。

稲田村は「町村制」で、登戸村、菅村などが周辺の村と合併して誕生、1932(昭和7)年に稲田町となりました。地名の由来は「稲毛領」の水田地帯の意味です。

この地域が大きく変化したのは小田急線が開通した昭和戦前期。「新宿駅」・「稲田登戸駅」間が35分で結ばれるようになり、遊園地、川遊び、釣り、ハイキングなどを目的とする行楽客が多く訪れ、学校や研究所なども立地するよう

になりました。戦後も大学の進出があったほか、「向ヶ丘遊園」の再整備や「よみうりランド」の開園、「生田緑地」の整備など、行楽地としての発展も続きました。1972(昭和47)年、川崎市は政令指定都市となり、多摩区が誕生。その後、駅周辺の土地区画整理が進められ、1982(昭和57)年には行政区再編により、多摩区から麻生区が分区、駅前に区役所が設置されました。

### <所長の経歴>

1968年9月 川崎市生まれ

1991年4月 川崎市中学校社会科教諭

2000年4月 川崎市体操協会事務局長

2010年4月 (一財)川崎教職員会館理事

2014年4月 川崎市体操協会理事長

2018年4月 川崎教育文化研究所所長

2021年4月 (公財)川崎市スポーツ協会理事

2022年2月 多摩区生田に教文研事務所を開設

&lt;趣味&gt; 体操、ゴルフ、歴史研究、読書

&lt;家族&gt; 妻、長女、長男の4人家族

## <未来に向けて>

2022(令和4)年4月に多摩区区政50周年を迎えます。多摩区はキャッチフレーズを公募しました。その結果「人と緑でつながる多摩区」となりました。記念ロゴも決まりました。キャッチフレーズの作者は「多摩区では水辺などの自然が身近に感じられ、菅の獅子舞など伝統的なお祭りでも見知らぬ人との交流が生まれる。人と自然、人と人のつながる素晴らしさを将来にもつないでほしい」と思いをつづっています。記念ロゴの作者は「多摩区には多摩川やニヶ領用水などのせせらぎと、そこに憩うカワセミなども見られる。緑も多くナシも有名」とコメントしています。>



## <多摩教育文化研究所が考える未来像>

# 人と自然に優しく、笑顔あふれる「まち」

# 教育・福祉・多文化が結び合う「まち」

## 教育

**教育は、未来をつくる。夢のあるまちを。**

- 学校教育の環境整備の充実と子育て・生活支援
- 次世代に必要なとされるICT教育の推進
- 市民に開かれた社会教育（市民館・図書館等）の充実
- 世代を通して豊かに学ぶことのできる生涯学習

## 福祉

**こども・若者・市民をつなぐ。住みやすいまちを。**

- 「子どもの貧困」「ヤングケアラー」等の対策
- 安心して子育てできるまち
- 高齢者・障がい者の生活支援と健康・元気の創出

## 多文化共生

**ちがいは豊かさ。互いに支え合い活気あるまちを。**

- 誰もが安心して住みやすい人権尊重のまち
- 国際的な感覚のもと、積極的な多文化交流
- 住民・はたらく者・学生が「市民」として支え合う豊かなまち

## 環境

**豊かな自然や文化遺産を守り、環境に優しいまちを。**

- 生田緑地や里山の自然を守り、持続可能な環境
- 多摩川周辺の環境整備と有効活用
- 都市部と自然が融合し、四季を楽しむうるおいのあるまち

## 防災

**様々な災害に備え、だれもが安心して住むことのできるまちを。**

- 地震や水害など様々な災害に応じた防災対策
- 新型コロナウイルス感染症も含めた複合的な防災対策
- 地域コミュニティを大切にした防災対策と避難体制